



## アヤメ、カキツバタ、ハナショウブはどうちがうの

### どれも、同じアヤメの仲間

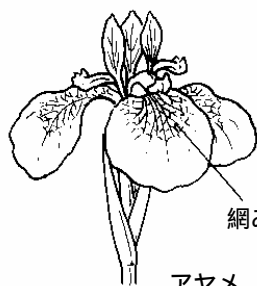
アヤメ、カキツバタ、ハナショウブは、どれも同じアヤメ(アイリスともよぶ)の仲間で、とてもよく似ていて、区別がつけにくい花です。

どれも水辺が好きな植物ですが、カキツバタは湿地で、根が水につかったような所に生えます。ハナショウブは、江戸時代から園芸植物として、いろいろ品種改良がされてきたため、花の色や形の種類が多く、大きくてはなやかな花も多いので、世界的にも有名です。

### 花で見分けられる

カキツバタとアヤメを比べると、アヤメの葉のはばは1センチメートルぐらいと細いが、カキツバタは2～3センチメートルとはば広です。花を比べると、アヤメは、外側の花びらのつけ根から真ん中あたりまで、編み目模様があり、カキツバタは、同じ部分に白い細い線が入っているだけです。花の色は、どちらも、紫がほとんどですが、白い花とか、点々模様が入ったものが一部にあります。

ハナショウブは、外側の花びらが大きく、そのつけ根から中心に、黄色のはっきりした線が入っているので区別できます。ただし、品種改良でできた、さまざまな色や形の変った花が見られます。(監修・矢野 亮)



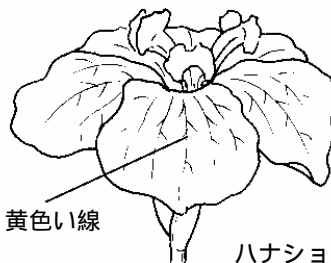
網み目模様

アヤメ



白い線

カキツバタ



黄色い線

ハナショウブ

